お知らせ

INFORMATION

No.2021-12
2021年3月
病体生理研究所

新規受託開始および受託中止のご案内

拝啓　時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は当研究所をご利用いただきまして誠に有り難うございます。
この度、下記検査項目におきまして、新たに受託を開始させて頂くことになりましたので、ご案内申し上げます。併せて旧検査コードにつきましては受付中止とさせて頂きます。
何卒、ご了解賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

【新規受託開始について】

- アルドステロン（血清）〔30114〕…検査実施施設S
- アルドステロン（血漿）〔30113〕…検査実施施設S
- アルドステロン（蓄尿）〔30121〕…検査実施施設S
- レニン活性〔30111〕…検査実施施設S
- レニン濃度〔30112〕…検査実施施設S

※項目情報中面参照

《受託開始日》2021年3月29日（月）受付分より

【検査中止項目】

今回の新規項目受託開始に伴い、下記項目の受託を中止させていただきます。

- アルドステロン（血清）〔10250〕…検査案内P.40　検査実施施設S
- アルドステロン（血漿）〔13388〕…検査案内P.40　検査実施施設S
- アルドステロン（蓄尿）〔10277〕…検査案内P.40　検査実施施設S
- レニン活性(PRA)〔10255〕…検査案内P.40　検査実施施設S
- レニン定量(ARC)〔12079〕…検査案内P.40　検査実施施設S

《最終受付日》：2021年3月27日（土）受付分まで

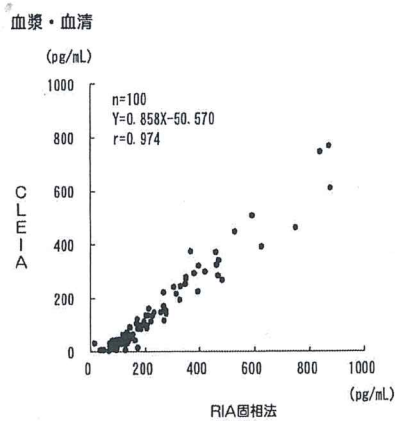
一般財団法人東京保健会　病体生理研究所
〒173-0032 東京都板橋区大谷口上町26-2　電話 03-3956-4101（代表）

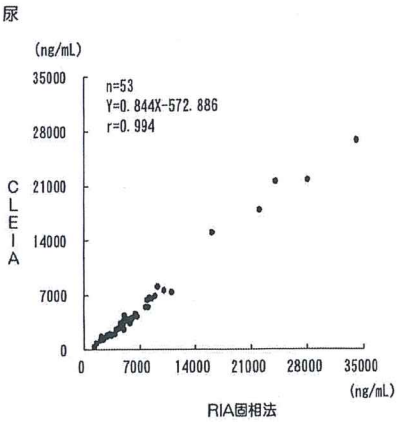
【新規項目情報】　アルドステロン

アルドステロンは、副腎皮質球状層で産生・分泌される最も強力な鉱質コルチコイドであり、電解質の恒常性・循環血液量・血圧の維持に重要な役割を果たしています。アルドステロンの分泌は、レニン - アンジオテンシン系、ACTH、血中カリウム濃度によって調整されています。本検査項目は、日本内分泌学会の方針に基づいた、標準化対応試薬を採用しています。原発性アルドステロン症をはじめとした高血圧疾患、腎疾患、浮腫性疾患などの診断と鑑別に有用です。

	新			従来		
項目名称	アルドステロン			アルドステロン		
コード	30113	30114	30121	10250	13388	10277
検体材料	EDTA-2Na 血漿 0.5mL	血清 0.5mL	蓄尿 1.5mL	EDTA-2Na 血漿 0.5mL	血清 0.5mL	蓄尿 2.0mL
保存 安定性	絶凍			絶凍		
検査方法	CLEIA			RIA 固相法		
基準値 (単位)	4.0～82.1 pg/mL		1.0～19.3 μg/day	臥位：29.9～159 立位：38.9～307 随時：35.7～240 pg/mL		10 以下 μg/day
所要日数	3~6 日		6～9 日	3～6 日		4～9 日
実施料 (区分)	125 点（D008　14）			125 点（D008　14）		
判断料	144 点　生化学的検査Ⅱ			144 点　生化学的検査Ⅱ		
備 考	・採血時間は午前が推奨されています。 ・採血は座位で１５分間安静後をお勧めいします。 ・蓄尿時は、蓄尿材として塩酸及び C-ペプチド安定化剤を使用しないでください。					

【新法と旧法の相関】





参考文献：　佐藤 文俊，他：医学と薬学 76（12）：1819～1826，2019.（検査方法参考文献）
猿田 享男：日本臨床 63（増）：328～331，2005.（臨床的意義参考文献）
猿田 享男：ホルモンと臨床 43（増）：65～72，1995.（臨床的意義参考文献）

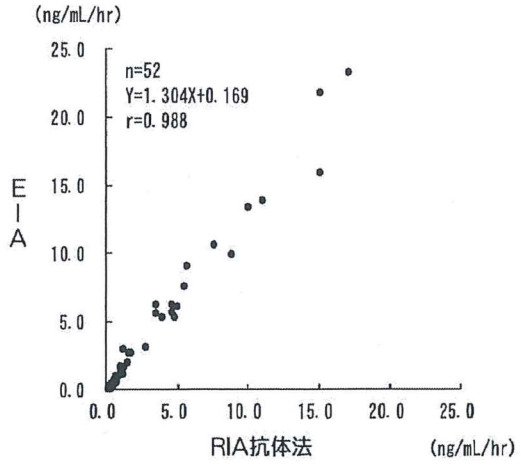
【新規項目情報】　レニン活性(PRA)・レニン濃度(ARC)

レニンは腎臓の傍糸球体細胞で産生されるプロテアーゼであり、血中では活性型または不活性型（プロレニン）として存在します。活性型レニンはアンジオテンシノーゲンをアンジオテンシンⅠに変換し、レニン - アンジオテンシン - アルドステロン系を介して電解質の恒常性、循環血液量、血圧の維持に重要な役割を果たしています。活性型レニン濃度の測定は、原発性アルドステロン症や腎血管性高血圧症などの二次性高血圧の診断と鑑別に有用です。

	新	従来
項目名称	レニン活性(PRA)	レニン活性(PRA)
コード	30111	10255
検体材料	EDTA-2Na 血漿 0.7mL	EDTA-2Na 血漿 0.3mL
保存 安定性	絶凍	絶凍
検査方法	EIA	RIA2 抗体法
基準値 （単位） ※	臥位：0.2～2.3 座位：0.2～3.9 立位：0.2～4.1 ng/mL/hr	臥位：0.3～2.9 立位：0.3～5.4 Ng/mL/hr
所要日数	4~7 日	4~7 日
実施料 （区分）	100 点（D008　7）	100 点（D008　7）
判断料	144 点　生化学的検査Ⅱ	144 点　生化学的検査Ⅱ

※　報告書への基準値の記載は行いません。本案内をご参照ください。

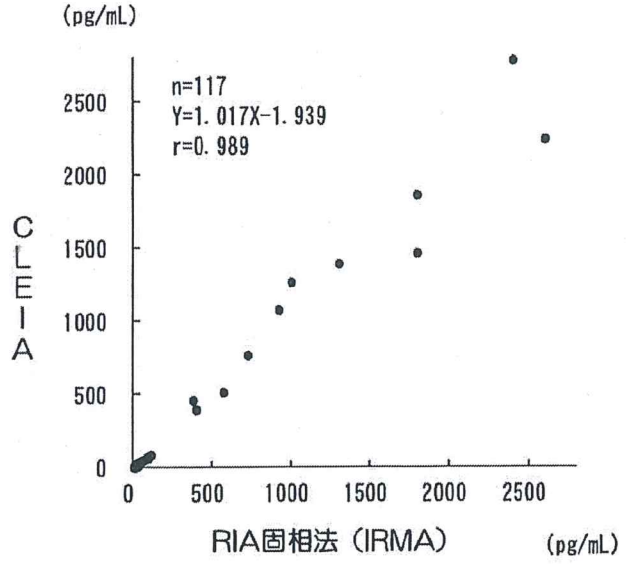
【新法と旧法の相関】



参考文献 ： 宇津 貴央, 他:医学と薬学 73(3):311～321, 2016.（検査方法参考文献）
Kunihide Hiramatsu, et al:Arch intern Med-Vol141:1589～1593, 1981.（臨床的意義参考文献）

	新	従来
項目名称	レニン濃度(ARC)	レニン定量
コード	30112	12079
検体材料	EDTA-2Na 血漿 0.5mL	EDTA-2Na 血漿 0.5mL
保存 安定性	絶凍	絶凍
検査方法	CLEIA	RIA2 固相法（IRMA）
基準値 （単位）	2.21～39.5 pg/mL	臥位：2.5～21 立位：3.6～64 随時：3.2～36 pg/mL
所要日数	4~7 日	4~7 日
実施料 （区分）	108 点（D008　11）	108 点（D008　11）
判断料	144 点　生化学的検査Ⅱ	144 点　生化学的検査Ⅱ
備 考	・採血時間は午前が推奨されています。 ・採血は座位で１５分間安静後をお勧めいたします。 ・冷蔵保存した場合、レニン濃度の上昇が認められます。	

【新法と旧法の相関】



参考文献：佐藤 文俊，他：医学と薬学 76(12)：1827～1832，2019.（検査方法参考文献）
沖 隆，他：ホルモンと臨床 42：1091～1094，1994.（臨床的意義参考文献）

以上